

アベにNO!野党共闘へ

市民連合が
新宿で街宣

共産、民主、維新、社民がスピーチ



昨年12月に結成された「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」(市民連合)が1月5日、「アベにNO!野党共闘へ」を合言葉にする初の街頭宣伝を東京・新宿駅西口で行いました。市民連合に参加する団体代表と、野党各党が交互にスピーチしました。

共産党・志位委員長のスピーチ紹介

◆市民連合の街宣で日本共産党の志位委員長が行ったスピーチの後半部分を紹介します。

(志位委員長は戦争法の強行がもたらした危険を告発した後、次のように語りました) …戦争法は廃止しなくてはなりません。安倍政権は11本の法案をまとめて強行したわけですから、11本まとめて廃止に追い込もうではありませんか。

**参院選で野党が結束してたたかい、
自公と補完勢力を少数派に転落させよう**

そのためには、まずは参議院選挙の審判が重要です。憲法破りの政治をやった自民、公明に退場の審判を下して、参議院で自民、公明とその補完勢力を少数派に転落させようじゃありませんか。

そしてそのためには、野党が結束することが必要です。バラバラでは勝てません。とくに全国32の1人区、そのすべてで、真剣な協議をおこない、しっかりした合意をつくって、野党共闘を実現していきたい。熊本では市民・野党統一候補が生まれました。熊本のような筋の

通った野党共闘の流れを全国に広げて、32の1人区全部で自民党を落とそうじゃないですか。

**好き嫌いを乗り越えて、
大義のために手を結ぼう**

今、一部から「共産党アレルギー」という声も聞こえてまいります。私たちが共産党への拒否感をなくすために努力したいと思いますが、やっぱりみなさん、今、日本の政治は、独裁政治を許しているかどうかの分かれ道ですから、好きだの嫌いだのと言っている時ではないのではないのでしょうか。

戦争法を廃止し、立憲主義を回復するという大義にたって、好き嫌いを乗り越えて、みんなで手を結ぼうじゃないかということを訴えて、私たちが頑張り抜くことをお誓いし、ごあいさついたします。

動画もご覧下さい→



2000万人
戦争法廃止の「署名」にご協力を!!

参議院(東京選挙区)予定候補
弁護士・31歳
やまぞえたく

山 添 拓

「戦争法廃止の政府」、「野党共闘」が実現するかどうかは国民、都民のみなさんの世論と行動にかかっています。安倍政権を打倒し、立憲主義をとりもどすために、力をあわせましょう。

東京民報
ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471
2016年1月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党